



拝啓

今年も残りわずかとなり、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。
日ごとに空気が冷たくなり、温かい飲み物が恋しくなるこの時期。
そんな時は、ふと足を止めて、香り高いカフェラテとともに
ゆったりとお気に入りの本を開いてみてはいかがでしょうか。
気温差の大きい日が続いておりますので、どうぞお身体を大切に、
健やかに過ごしてください。かしこ

～今月のラインナップ～

Calendar

2025年12月・2026年1月カレンダー

LiLian Special Info.

行ってみたい！〈独立系書店〉

今月の一冊

『すべて真夜中の恋人たち』 川上未映子／著

LiLian Interview

加藤千明先生（看護学部 看護学科）

2025年
12月

開館時間
★8:45-19:30
○9:00-16:30

2026年
1月

開館時間
★8:45-19:30
○9:00-16:30

日	月	火	水	木	金	土
	1 ★	2 ★	3 ★	4 ★	5 ★	6 ○
7 休	8 ★	9 ★	10 ★	11 ★	12 ★	13 ○
14 休	15 ★	16 ★	17 ★	18 ★	19 ★	20 ○
21 休	22 ★	23 ★	24 ★	25 休	26 休	27 休
28 休	29 休	30 休	31 休			

日	月	火	水	木	金	土
				1 休	2 休	3 休
4 休	5 ★	6 ★	7 ★	8 ★	9 ★	10 ○
11 休	12 休	13 ○	14 ★	15 ★	16 ★	17 ○
18 休	19 ★	20 ★	21 ○	22 ★	23 ★	24 ○
25 休	26 ★	27 ★	28 ★	29 ★	30 ○	31 休

最新の情報はHPをご確認ください



学生・教職員
の皆さん

返却期限の延長はスマホから行ってください

①My Library



②貸出・予約状況



③更新



④OKで延長完了

延長は2回までOKです！

ただし1冊でも期限切れがあると、全ての資料が延長できません。
予約が入っている資料も延長できません。



行ってみたい！ 〈独立系書店〉

普段は足を運ばないような場所に、思いがけない出会いが待っていることがあります。独立系書店もそのひとつ。お店ごとに個性があり、店主の思いや選書の工夫がぎゅっと詰まっています。今号では、LiLianメンバーが「行ってみたい！」と心惹かれた独立系書店をご紹介します。

次のお気に入りの一冊は、そんな小さな本屋さんで見つかるかもしれません。

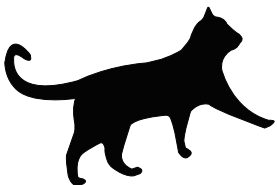


本・ひとしずく

名鉄瀬戸線 尾張瀬戸駅から徒歩12分

築100年の建物を改装して作られた本屋「本・ひとしずく」さん。お店の名前には「毎日の生活にひとしずくのうるおいをお届けできたら」という思いが込められているそう。

新刊をメインに、リトルプレスや古本、雑貨など幅広く取り扱っています。古民家のあたたかな雰囲気の中で、自分にうるおいを与えてくれる本を見つけてみませんか？



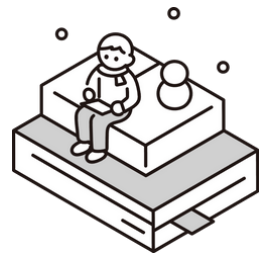
ON READING

地下鉄東山線 東山公園駅から徒歩1分



マンションの一室で営まれる、隠れ家のような本屋「ON READING」さんは「感じる、考える人のための本屋」を目指して本をセレクトしています。ギャラリーもあり、そこでは様々な作家さんの展覧会が開催されているようです。また、店内でライブやトークイベントなども開かれており、本だけではなく人との出会いもありそうですね。

駅から徒歩1分という立地はとても魅力的！ぜひ行ってみてください。



尾張旭市にある、愛知県の大学生が運営する参考書専門の独立系書店です。町の書店が減っていることに対してどうにかしたい、という思いから開店したそうです。参考書を中心に約3,000冊を揃え、相談スペースも設けられているので、勉強に迷ったときの心強い味方になってくれそうです。落ち着いた雰囲気、自習の合間に立ち寄れるのも魅力です。学業へのモチベーションが高まりそうですね！



NAgoya BOOK CENTER

JR名古屋駅 太閤通口から徒歩5分

“名古屋にちなんだ本だけ”を並べた新刊書店です。取り扱っているのは、名古屋の歴史・風俗・観光に関する本、名古屋を舞台にした小説やマンガ、名古屋出身・ゆかりのある著者の本など。「なごやだらけ」「なごやばなし」「なごやうまれ」「なごやめぐり」といったテーマで棚が分かれていて、本棚を眺めているだけでも街の魅力が伝わってきます。ふらりと立ち寄って、名古屋という街にあらためて出会える場所です。



〈私たち大学生が行ってみたい独立系書店の魅力〉

普段はなかなか出会えない本や書店も、ちょっと視点を変えるだけで身近に感じられるんだなあと改めて思いました。

小さなきっかけが、思わぬ一冊や場所との出会いにつながるかもしれません。皆さんもぜひ気になった書店があれば、足を運んでみてはいかがでしょうか。ちょっとした気分転換にもなると思います！（ゆうみ）

皆さんが大学帰りに通る駅中の書店さんは品揃いが豊富で色々なフェアを行っているのも魅力の一つですね。しかし今回はあまり知る機会のないであろう独立系書店さんに焦点を当ててみました。それぞれの店主さんが目指しているものに添った選書は、いつも行く書店さんではお目にかかれない本がたくさん。新たな出会いになるのではないのでしょうか。（なつき）

LiLian Interview

大好きな先生に
インタビューに
行こう69

看護学部 看護学科

加藤 千明先生



1. 大学教員になったきっかけ、

金城学院で働くようになった理由

看護師としてのキャリアの中で、看護学生を指導する立場になった際、改めて自身の知識を深めたいと考えるようになりました。そこで大学院に進学し、修士課程を修了しました。この経験がきっかけとなり、ご縁があって大学教員としての道に進みました。

金城学院大学で働くことになったのは、看護学部新設にあたり、教員を探しているというお話をいただいたからです。愛知県出身の私にとって、高校生の頃から金城学院大学は憧れの存在でした。その場所で教壇に立つという形で関われることに魅力を感じたのが、ここに来た一番の理由です。また、「強く、優しく。」という大学のスローガンにも強く心を惹かれました。患者さんの代弁者としての強さと、折れないしなやかさ、優しさは、看護にも通じる部分があり、共感しました。

2. 看護の道に進んだ理由

医療ドラマを見るのが好きでもともと看護の分野に興味はありました。大きな理由としては祖父母や両親と暮らす中で、人の一生やその先を知ったことです。人生の中で病気になることもあり、そこで健康について考えるようになりました。失って初めてその大切さに気付くことが多いものです。一生を通じて一番大切なことが健康であると思って幼少期を過ごしました。行きたい場所へ行き、食べたいものを食べるなど、人生の多くの喜びは健康があってこそ。人々の心身の健康を支えることが幸せの根源だと考え、看護師を志しました。身体的にも精神的にも健康であり続けることは、今でも大切だと思っています。

3. 看護師の仕事について

看護師の仕事は、人と人との関わりが中心となるため、常にエネルギーを使います。患者さんと向き合う中で、思うような手応えを感じられず「これで良かったのだろうか」と自問自答することのほうが多いのが現実です。しかし、ごく稀に「通じ合えた」と感じる瞬間があります。患者さんと一緒に壁を乗り越えられた時です。心の底から感動しました。その経験が次の看護の原動力でした。

4. 学生時代、看護師時代の楽しかった思い出

学生時代は、旅行も楽しんでいましたが、それ以上に勉強をたくさんしていました。常にやるべきことがたくさんありました。看護師になってからは、テニスやスキー、旅行に夢中でした。夜勤明けにそのまま旅行に出かけることもあり、かなりタフだったと思います。私の周りの看護師には、そういうタフな人が多いですね。最初に配属となった病棟は、チームワークが良く、病棟全体に活気がありました。例えば、当時、病棟では〔患者さんからのナースコールを減らす（患者さんにナースコールを押させない）〕という目標を掲げ、チーム全体で取り組んでいました。ナースコールが鳴る前に行動するために、状況を把握すること、優先順位を決めることなどを学びました。仕事だけの繋がりではなく、医師を含めて勤務終了後に食事に行くことも多く、楽しい毎日でした。そうした仕事への姿勢が、私生活でもアクティブに行動する原動力になっているのかもしれません。

5. 小児看護を専門とするになった理由

今は大好きですが、学生時代は小児科は自分には合わないと思っていました。あまり話をしたがない子どもたちと、どうコミュニケーションを取れば良いか悩んでいたからです。そんな中で、小児科の実習で出会った子どもが、看護の大切なことを教えてくれました。「退院させてください」と懇願する子どもの願いに医師が応じ、退院が決まった時のことです。「わーい！」と喜ぶ姿を見て、子どもを元の生活に戻すことが看護師の役割だと気づかされました。それ以来、無理に話そうとするのではなく、元の生活に戻れるようサポートしようと考えようになり心が楽になりました。この経験が小児看護を専門にするきっかけです。

6. 座右の銘

私の座右の銘は「ピンチはチャンス」です。もうダメかもしれないと思うような状況でも、「ここから何かを学べるはずだ」と気持ちを切り替えるようにしています。もう一つは、詩人・書家である相田みつをさんの「いのちいっぱいじぶんの花を」という言葉です。自分自身の人生を、自分で華やかに彩ってほしいという意味だと解釈しています。この言葉が好きで、研究室にも飾っているほどです。私の周りには、この言葉のようにポジティブな人が多い気がします。私も、自分自身の人生に精一杯、美しい花を咲かせていきたいと思っています。

7. 大好きな一冊

『おおきな木』 本田錦一郎／訳ver村上春樹／訳ver

私は絵本が好きで、研究室には50冊ほど置いています。中でも、「無償の愛」をテーマにしたシェル・シルヴァスタインの『おおきな木』がお気に入りです。この絵本の評価は賛否両論あります。この絵本には、本田錦一郎さんと村上春樹さん、お二人の異なる翻訳版があり、それぞれの解釈の違いを楽しめるのも魅力です。小児病棟では、幼い子どもたちが親と離れて夜を過ごすさなければならぬこともあります。そうした子どもたちに絵本の読み聞かせをすることが、私の夢です。

8. 金城生へ一言

金城は伝統校だからこそ、品性のある方になって欲しいです。品性や言葉遣いがきちんとできる方は美しいと思います。品性は1日では育たないので、大学で学んだことを生かして社会に良い影響を与え続ける人になってください。

★インタビューを終えて★

元気で前向きな加藤先生のお人柄に触れることで、自然とこちらも明るい気持ちになりました。今回のインタビューを通して、多くの学びと元気をいただきました。大学が掲げる「強く、優しく。」私もそのような女性を目指したいと思います。（ゆうみ）

看護学の先輩として、とても素敵で参考になるお話が聞けました。新しいことへ挑戦する行動力や、患者さんとの心に残ったエピソードなど、前向きな姿勢をもって生きることの大切さが学びました。（ひなこ）

LiLian
今月の1冊

『すべて真夜中の恋人たち』 川上未映子／著

請求記号 913.6/Ka943/3a
閲覧室2F（読書コーナー文庫）

静けさの中にある孤独と、そこから生まれる微かな希望を繊細に描いた恋愛小説です。編集者として働く女性・音は、他人との距離を測りかねながら日々を過ごしている。そんな彼女が、ある夜、同じように生きづらさを抱えた男性と出会い、少しずつ心を寄せていく―。著者の研ぎ澄まされた言葉は、日常に潜む痛みややさしさを静かに照らし出します。派手な展開はないけれど、読み終えた後には心の奥に灯がともるような余韻が残る作品です。夜の静寂の中、自分の孤独と向き合いたいときにそっと開きたくなる一冊。

（おとね）



Library
News

帰ってきた

ガチで調べた！刀剣男士
—図書館で深まる、刀剣沼—

前期に開催し、大好評を博したラウンジ展示が、装いを新たに第二弾として帰ってきました！今回のテーマは「刀剣旅」です。リリアンのメンバーが、稲葉工、琉球宝刀組（北谷菜切、冶金丸、千代金丸）に会いに行く旅に出かけ、その旅のレポートとともに、各刀剣の歴史や背景に関する「ガチ」な調査を行いました。前回50名超が参加した人気企画＜審神者履歴書を作ろう＞も、引き続き開催しています。「押し刀剣」や「刀剣愛」を履歴書に熱く綴ってくださいね。図書館1Fラウンジで、皆さまのご来場をお待ちしています。